

平成 24 年度 事業報告書

1. 平成24年度を省みて

平成24年度は、当博物館の開館20周年の節目の年でございました。

時代の変遷と共に今日まで着実に歩んで来ることが出来ましたのも、博物館の充実、発展にご尽力いただいております理事長様をはじめ関係各位の努力に深く敬意を表しますと共に勝山市民や友の会のご支援、ご協力に対し心から感謝いたします。

平成24年度は20周年記念式典をはじめ記念事業、LEDの電球交換、老朽化に伴う館の修繕等々、滞りなく終了する事が出来ました。

特に20周年事業を福井テレビで宣伝していただいた効果は、より実りがあったと思われまます。お茶の間に流れる広報は何ものにも代え難く入館者増につながったようです。

公益法人化への道のりも、申請する運びとなり、お蔭様で認可もいただき、平成25年4月1日より公益財団法人として歩み出しました。

変化の目まぐるしい時代でございますが、「アベノミクスや円安」などで景気回復の期待感も膨らみ、常に前進あるのみの信念に基づき、活動を展開しております。入館料、入館者数も徐々に上がり、三館共通券の利用者も好調で、明るい兆しも見えて来たように思います。

市民の皆様方に、お城を愛していただけるように、また、気軽にお城に出入りしていただき、博物館との関係がより密になるようにする事が私にとって、大きな宿題でしたが、少しずつ皆様方の中に浸透し、友の会という協力なバックも膨れあがり、活発な活動を發揮しております。

また、勝山市との連携問題は、前向きに進んでおりますものの勝山市議会等なかなかご理解いただくまでの道のりが大変で、急がず焦らず進めてまいりたいと思います。

勝山城博物館は勝山市唯一の博物館登録を受けた施設です。私たちがこの世から消えてもずう〜と残るものです。勝山市の文化財行政の中での勝山城の位置づけを、しっかりとさせていただきたいと思っております。勝山城博物館は、勝山市の宝物だという発想をかえていただき、勝山市や市民の方々の積極的な活用を心から望んでおります。

20年を節目に、第二のスタートを歩きはじめた今、「思いやりの心」、「思いやりの言葉」、「思いやりの行動」をもって、新しい可能性を求めて活動をしてまいりたいと考えております。

(1) 入館者の状況

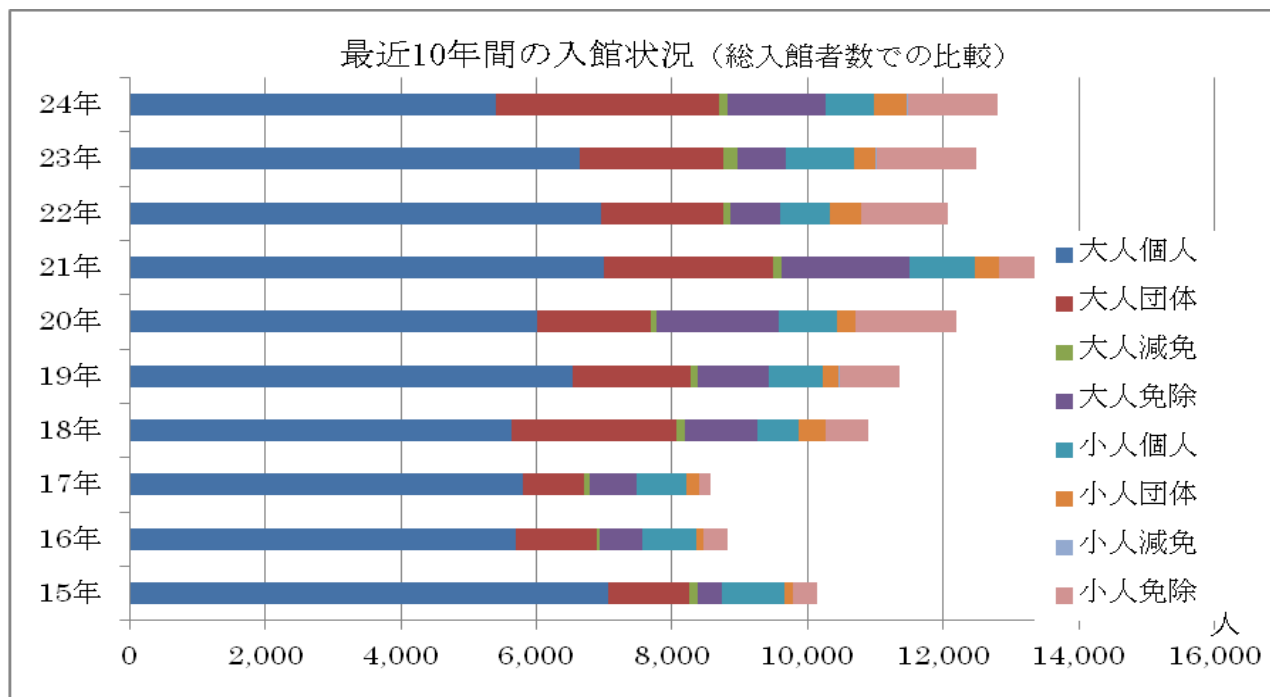
今年度入館状況

有 料 入 館 者 数				入館料 (円)
大 人	小 人 (小中高生)	減免者	合 計	
8,692 人	1,190 人	137 人	10,019 人	4,467,580 円

免 除 者 数				入館者総数	摘 要 その他は幼児、 障害者付添、友 の会員、イベン ト関係者、記念 式典関係者等
児童・生徒	公務等	その他	合 計		
1,324 人	50 人	1,399 人	2,773 人	12,792 人	

- 開館日数 320 日
- 1日平均の入館者数 40.0 人
- 平成 21 年度から 4 年連続で有料入館者 1 万人を超えることができました。前年度(入館者総数 12,476 人、有料入館者数 10,291 人、入館料 4,298,130 円)からは入館者総数 2.5%増、入館料収入は 3.9%増となりました。

好調であった 21 年度と同じく引き続き地元密着の展示会や催しを展開し、特に 20 周年記念事業にマスコミ等への広報も強化することで入館者数の増加を図りました。また、三館共通券の利用者数が 1,638 人と前年度 (1,503 人) より 9.0%増となりました。市内一円で販売され、宣伝効果は上がってきているものと思われます。今後の日本経済は少し上向き始め、当博物館も徐々に明るくなるよう期待しつつ、さらに、博物館本来の教育目的での利用者が増えるように、それに見合うだけの展示内容の向上を目指したいと考えます。



(2) 常設展・企画展等の実施状況

① 常設展示

6階は展望台、勝山市街地を一望できます。

5階は展望台に加えて「平泉寺の歴史」「泰澄」をイラストでわかりやすく紹介しています。

4階は特設会場での勝山の歴史を紹介する「勝山の歩み」コーナー（特に平泉寺の発掘資料を中心に、白山平泉寺を詳しく展示）と同会場での特別展示、そして「中国刺繍室」があります。

3階は大名家の甲冑を中心に武具や合戦図屏風、小袖などを展示。刀剣の手入れや着物の入れ替えは定期的に行っています。

2階は今井俊満作障壁画「日本の四季」、左義長紹介コーナー、茶会や会議に利用される和室など。

1階は城の100分の1模型、建設時の記録、多田清翁の生涯など。

② 平成お天守塾第6回勝山城清明茶会

会 場 2階ホール、和室「蘭月の間」

期 日 4月22日（日）

入館者 券購入者 大人 189人

御招待者 大人 44人 その他 大人 117人

合計 350人

茶席券 四席券 1枚 6,000円 野点券 1枚 300円

四席券 1,044,000円 野点券 4,500円

お祝金 346,000円

合 計 1,394,500円



主 旨 茶道は日本の伝統文化の一つとして、「もてなし」と「しつらい」をもって日本的な美の世界、ぬくもりのある精神文化を生み出しています。

当館では、茶の文化を地域に広めるため、それぞれのお流儀や先生方のご趣向を生かし、濃茶席、薄茶席、野点席、点心席を設け、継続事業として地元が無い大寄せ茶会を開催しています。

今回で6回目を迎え、勝山市、越前市、福江市等で学ぶ人たちがお茶を楽しみ、また、開館20周年記念事業の一環として京都から舞妓さんをお招きし、華やかに茶席を盛り上げていただきました。点心席では、ぜんまい、勝山水菜や里芋など地元の食材を使った料理も呈することもでき、総数350人がお茶会を楽しん

でいただきました。

前回の清明茶会と比べ、今回は天候が良くありませんでしたが、茶券の総販売数が25枚増となったことから収支は約57,000円の黒字になりました。

清明茶会も6回目を迎え、遠くは島根や鳥取からも来られ、県外にも名が広がり、お席の担当や券購入の方を断らなければならないほどになってきたことは、光栄なことと感じています。

今後も新聞・テレビ等のマスコミ関係及び各市町村に当館を取り上げて広報していただき、さらに発展させていければと思います。

③ 開館20周年記念ポスター・写真展「20年の足跡ポスター展」

会 場 2階渡櫓ホール

期 日 7月12日(木)～9月30日(日)75日間

主 旨 開館20周年記念事業を行うにあたり、平成14年7月の開館から20年を振り返る材料としてポスター、写真、新聞記事などを展示いたしました。

過去に行われた展示等に対し、懐かしく感じられましたが、久保初代館長から今日まで行った展示及び講座が地域の文化につながり、勝山の歴史、自然環境等の散策を促す契機になればと思います。今後も地元に着した展示展開ができるよう地域に愛される博物館を目指して努力していきたいと思っています。

④ 特別展「勝山・大野の家紋と道具」

会 場 4階特設会場

期 間 7月24日(火)～8月28日(火)

休館日なし 36日間

入館者 大人1,948人 小人612人 合計2,560人

入館料 1,055,535円

主 旨 勝山と大野に残る家紋の入った資料を通して、家紋の成り立ち、歴史、使われ方などを紹介するため、勝山と大野に残る貴重な道具を対象にした特別展を開催しました。

地元に出展依頼し、勝山大野の家紋の付いた資料を多く集めることができました。平泉寺の旧家に伝わった八代藩主小笠原長守の母の実家(姫路藩主酒井家)の家紋の入った食籠(じきろう 菓子入れ)を、幕末藩主土井家に興入れしてきた姫様の嫁入り道具を展示することができました。

また、時代により家紋の形が徐々に変わっていったことも合わせて紹介するこ



とができました。

展示期間中は地元からの出展が多かったことから地元の方が多く、特に嫁入り道具は女性や子供たちに興味をそそり、また、家紋辞書を配置したことによって自分の家の家紋を深く見入っておられる方が多く見受けられました。

今回の特別展の開催期間は借用物の都合から前回と比べ27日間短くなり、特別展入館料150円を別途徴収させていただきました。その結果、目標2,000人を超えることができました。

⑤ 納涼花火見物&ナイトミュージアム

会 場 6階

期 間 8月14日(火)夜

入館者 大人5人

入館料 2,500円

500円×5人=2,500円

主 旨 花火見物は午後8時00分から9時まで、6・5階展望台から、ナイトミュージアムは午後5時から観覧できるようにしました。夜見る甲冑は昼以上に不気味さを増しています。そのような切り口から甲冑や武具の美に興味をいただけたかと思います。

今回は第3回目を迎えましたが雨で中止にならないかどうかという日でしたが、どうやら雨も上がり実施されました。一般の入館者は5名、その他友の会員が20名来られました。天候に左右される企画のうえ、8月のお盆で久しぶりに帰省した子や孫たちと揃っての墓参りや会食などで出足が悪く、今一ですが、来年はさらに広報に努めて入館者数を伸ばしたいと思います。



⑥ 開館20周年記念式典・祝賀パーティー

会 場 4階特設ホール、2階障壁画ホール

期 間 10月7日(日)

主 旨 勝山城博物館はお蔭様で開館20周年を迎えることができ、開館20周年記念式典が挙行されました。勝山市長

様及び各議員様方、当館役員、評議員を始め、友の会役員、関係各位の皆様方68名のご出席をいただき、記念アトラクション、祝賀パーティーと恙なく終了することができました。



⑦ 大杉真司絵画展&笹岡隆甫さんとスペシャルトークショー

————— 開館20周年記念行事 —————

会 場 4階特設ホール

期 間 絵画展 10月6日(土)～

10月12日(金)

トークショー 10月8日(月)

入館者 大人237人 小人34人 合計271人

入館料 91,170円

主 旨 大杉真司氏は京都を中心に舞妓をテーマに絵を制作されておられ大きな目と丸い顔におちょぼ口の舞妓さんを独特のタッチで、和を大切にされて描かれております。また、華道「未生流」家元の笹岡隆甫氏との華やかなトークショーも行われ、会場内の皆さんも大満足の様子でした。短期間でしたが県外のファンの方も多く来られ、200人を超える盛況ぶりでした。



⑧ 平成お天守塾第7回越前勝山城絵画作品展「お城を描こう」

会 場 2階障壁面前ホール

期 間 11月4日(日)～11月25日(日)、

入館者 大人737人 小人360人 合計1,097人

収 入 勝山市わがまち魅力醸成事業助成金対象事業

助成金 400,000円

(勝山市エコミュージアム協議会助成金)

入館料 207,940円

主 旨 将来を担う子供たちの創造性と感性を育てるため、地域貢献の目的をもって始めた勝山城絵画作品展「お城を描こう」は7回目を迎え、徐々に県内に浸透してきております。

今回は嶺北地方一円はもとより、遠くは埼玉市等から総合計715点の応募があり、その中から143点の入賞作品(応募総数の20%)を選考し表彰いたしました。そして、20周年記念事業の一環として、表彰式後に大阪芸術大学教授石川豊子氏による「ぼくとわたしのごあいさつ」という講演会を行い、子どもたち全



員が参加して挨拶の仕方について学びました。

この事業は勝山市エコミュージアム協議会の助成金、総事業費の 80%に当る 400,000 円の助成を受けております。そして環境に配慮した取り組みがあり、参加賞として新聞紙でできた鉛筆とドングリを配付しました。また、収集した 40 本の苗木を 8 月 23 日に世界的奉仕団体、国際ソロプチミスト福井に寄贈し、越前市八



つ杉千年の森に植樹していただきました。

その他に、金賞受賞者を対象に絵はがきを作成し、1 枚 30 円で販売いたしました。

総事業費の 20%は当館の支出となるため、事業収支は赤字となりますが、入館料収入とあわせ 107,940 円の黒字となりました。

少子化により応募総数が減ってきている絵画展が多くなっていると言われる中、当館ではさらに広く県内外の小中学校、園に広報してまいりたいと思います。

⑨ かっちゃんゴスペル

————— 開館20周年記念行事 —————

会 場 2階障壁画ホール

期 日 11月25日(日)

入館者 大人104人(うち友の会36人)

小人4人 合計108人

入館料 合計34,800円

大人 500円×68人=34,000円

小人 200円×4人=800円



主 旨 当館でのゴスペルは初めてのコンサートで、ティアーズ・ワイプ・ティアーズ・クワイアーズ・バンド・ウィズ山盛成人という各方面で活躍している実力派のシンガーミュージシャンが東京から出演し、勝山からはゴスペル・ウィンディ・フレンズというグループが出演いたしました。大障壁画に囲まれて、喜怒哀楽という感情の起伏を体全体で表現し、パワフルなパフォーマンスで 14 曲を 1 時間にわたって歌われました。

今後も多くの方にさまざまな音楽を親しんでもらえるようにそのキッカケを作っていくことができればと思います。

⑩ 新春特別陳列 館藏品展「紀州徳川家ゆかりの品々」

会 場 3階展示室の一部

期 間 25年1月1日(火)～1月20日(日)

入館者 大人213人 小人29人 合計242人

入館料 122,490円



主 旨 毎年恒例になっております正月展です。当館は紀州徳川家の貴重な館蔵資料を多く保有していることから普段公開していない資料を見ていただきたく展示をしました。

展示資料

紺糸威総練革五枚胴具足・刀 銘正宗(蠟色塗拵も展示)

刀 無銘来国俊(蠟色塗拵も展示)・梨地金蒔絵葵紋散し薙刀拵え

十文字槍 銘山城国住下坂作・同上拵 葵紋入り鞆・白綸子地花筏文様小袖

犬追物図屏風・「川中島合戦図屏風」「賤ヶ岳合戦図屏風」等

⑪ 勝山城博物館写真コンテスト

————— 開館20周年記念行事 —————

会 場 4階特設会場

期 間 25年3月15日(金)～4月14日(日)

入館者 大人431人 小人128人 合計 559人(平成25年3月31日現在まで)

入館料 185,140円

主 旨 11月1日から2月22日まで応募を行いました。四季折々にさまざまな角度から撮られた、撮影者の思いや感動が見られ見応えのある写真が県内外の38人から130点集まりました。

2月28日に福井テレビジョン放送(株)の御協力のもとに審査を行い、最優秀、優秀秀作として9点を選考し賞金を授与いたしました。

作品展では開館した平成4年当初の姿や稲穂が実る水田、うっすらと雪が積もった風景写真など51点を展示し、多くの方に感動を与えることができたかと思えます。



(2) 主な文化・貸館事業

① 月例茶会の開催

会 場 2階和室「蘭月の間」

期 間 7回(5月から11月までの毎月第一日曜日)

利用者 大人168人、1回平均 24人

主 催 勝山市茶道連合会(荒井敏子代表)・勝山城博物館共催

勝山市茶道連合会に加入している7会派と協力して、茶道に親しみ博物館への理解を深めてもらうための文化活動の一環として始まった月例茶会も9年目を迎えました。

② 越前禅定道修験者マラソン大会の開・閉会式場

日 時 8月19日(日)

会 場 駐車場と2階渡櫓フロア

主 催 越前禅定道修験者マラソン実行委員会

参加者 112人、スタッフ10人

毎年、勝山城博物館から出発し、宝恩寺山山頂、白山伏拝まで標高1350m、距離8.7kmを駆け上がるトレイルマラソンです。表彰式は勝山城博物館内で行っています。

③ 貸館事業

茶会、ピアノ発表会等として利用されました。

6月2日 このみ会茶会、6月24日 山本ピアノ教室発表会

8月19日 ゆかた茶会、8月24日 閑友会稽古茶会

9月23日 村井ピアノ教室発表会 10月18日 ふるさとルネッサンス対談会

10月29日 奥越法人会絵本寄贈式

(3) その他の社会教育関連業務

・環境自治体会議 第8分科会

5月26日(土) 午後2時30分から 2階障壁画ホール

参加者 36名 スタッフ4名

概要 環境問題と企業の地域貢献について

これからの企業の環境保全活動について、当館のLED電球の総入替を紹介

・勝山城友の会活動

① ステンドグラス作り講習会〔文化部〕

5月14日(月) 2階渡櫓にて、参加者数24人

② 講演会

講演会「これから勝山の大人がすべきことは」

講師 前園 泰徳氏(勝山市環境保全推進コーディネーター)

6月21日(木) 14時30分～15時40分

参加者数 大人46人

③ 春の館外研修 5月20日(日)、21日(月) [研修部]

神奈川県小田原市、三島市 小田原城、山中城跡、箱根強羅公園など見学

参加者29人

④ 私の二十年作品展 9月13日(木)～30日(日) [文化部]

会場 2階ホール

出品者 21人 作品展 75点

開館20周年記念にちなんで、各個人の趣味、特技として作ってきたものの発表の場として作品展を行いました。古布手芸、書道、絵画、革手芸、押絵、パッチワーク、写真等さまざまなものが一同に集まりました。



⑤ 秋の館外研修 10月23日(火) [研修部]

滋賀県大津市、草津市 草津宿本陣 大津市歴史博物館、日吉大社など見学

参加者33人

⑥ 親子で作る表現教室 凧揚げする子は集まっておいで～ [文化部]

会場 2階渡り櫓ホール、勝山駅前九頭竜川河川敷

凧作り教室 8月18日(土) 参加者 子供8人、大人12人

凧揚げ 8月26日(日) 参加者 子供7人、大人8人

⑦ 勝山城博物館「お城を描こう絵画展」の絵画展示ボランティア [友の会有志]

11月1日(木)、26日(月) (延べ34人)

・館蔵資料の貸し出し

なし

・中学生職場体験「14歳の挑戦」で勝山南部中学生2人受け入れ 10月18～19日

(4) 財団の運營業務等

1. 役員等の現況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

職 名	現 員	定 数	摘 要
理 事	9 名	6 名以上 12 名以内 (寄付行為第 16 条)	
監 事	2 名	2 名または 3 名 (寄付行為第 16 条)	
評 議 員	9 名	6 名以上 12 名以内 (寄付行為第 23 条)	

2. 職員等の配置 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

職名・氏名	人 員	事 務 分 掌	摘 要
事務局長 深谷 久枝	1	財団・博物館の事務統括	博物館館長兼務
事業課長 杉本 幸男	1	学芸・事業に関する事務の統括、 学芸業務全般	学芸員 防火管理者
総務課 酒井 治	1	庶務・会計事務の統括	総務課長代理
総務課 安田 修子	1	庶務・会計に関すること	
事業課 光仙 陽子	1	受付・案内等に関すること 友の会事務局担当	
清掃員 山西 陽子	1	博物館内外の清掃に関すること	パート雇員
合 計	6 名		

3. 理事会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 24 年 6 月 21 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 23 年度事業報告書承認の件 2 平成 23 年度決算書類承認の件 3 新制度による評議員報告の件 4 新制度による理事及び監事選任の件 5 「定款の変更の案」承認の件 6 新制度による評議員並びに理事、監事、代表理事（理事長）、業務執行理事（専務理事）を「定款の変更の案」の附則に記載承認の件 7 定款に附則する諸規則規定(案)承認の件 	定例理事会会場 勝山ニューホテル
平成 25 年 3 月 11 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 25 年度事業計画書(案)承認の件 2 平成 25 年度収支予算書(案)承認の件 3 公益財団法人への移行認定状況報告の件 	定例理事会会場 勝山ニューホテル

4. 評議員会の開催状況

開催期日	会議の要旨	摘要
平成 24 年 6 月 21 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 23 年度事業報告書承認の件 2 平成 23 年度決算書類承認の件 3 最初の評議員の選任報告の件 4 新制度による理事及び監事選任の件 5 「定款の変更の案」承認の件 6 新制度による評議員並びに理事、監事、代表理事（理事長）、業務執行理事（専務理事）を「定款の変更の案」の附則に記載承認の件 7 定款に附則する諸規則規定(案)承認の件 	定例評議員会会場 勝山ニューホテル
平成 25 年 3 月 11 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 25 年度事業計画書(案)承認の件 2 平成 25 年度収支予算書(案)承認の件 3 公益財団法人への移行認定状況報告の件 	定例評議員会会場 勝山ニューホテル

5. 平成 24 年度財務会計の決算概要

平成 24 年度決算書類（資金ベース）の状況については第 2 号議案により詳細に報告することとし、ここではその主な概要のみを記載いたします。

項 目	金 額 (円)	摘 要
収入総額	33,517,916	
ア 事業収入	6,230,395	入館料収入、施設貸出、物品・茶券販売
イ 基本財産収入	1,831,235	利息、賃貸料
ウ 補助金等収入	400,000	勝山市エコミュージアム協議会 わがまち魅力醸成事業助成金
エ 寄付金収入	373,000	20 周年記念事業祝金 22 件
オ 雑収入	341,859	望遠鏡、器具使用料、印刷代
カ 繰入金収入	761,427	収益事業から
キ 特定資産取崩収入	23,580,000	20 周年記念事業、保安全管理、文化交流 積立金取崩
支出総額	37,664,205	
ア 事業費	32,605,800	博物館、郷土芸能生涯教育振興、 不動産賃貸、売店施設等利用事業
イ 管理事務費	4,296,978	職員給与その他管理費
ウ 繰入金支出	761,427	収益事業へ
エ 予備費支出	0	
当期収支差額	△4,146,289	
前期繰越収支差額	45,850,351	平成 23 年度より
次期繰越収支差額	41,704,062	次年度への繰越額

以 上